



“かすたネット”活用にあたってのお願い

かすたネットでは学校訪問による相談活動を、アドバイザーによる助言と、相談員による個別指導（出前かすた）の2通りの方法で行っています。先生方の中には、本年度より管理職や特別支援教育コーディネーター等となり、かすたネット活用の検討が他人事ではなくなった方や、他地区からの転入・初任者など、かすたネットを御存知でない方もおられます。

かすたネットの概要については、本通信の第1号及び第23号を御参照ください（ミライム：教育センターキャビネット＞特別支援教育＞かすたネット通信より閲覧・ダウンロード可）。

ここでは、活用にあたってお願いしたいことについて述べたいと思います。

（1）アドバイザーによる訪問相談の活用 ⇒ 申込みは管理職から、諸伏・石川あて TEL 639-4381

・教育センターで教育相談、就学相談を実施中のケースは、保護者のみ相談の場合も含め、**教育相談・就学相談の各担当との連携を優先して行った上で活用を御検討ください。**

教育相談 TEL 639-4380（窓口：川口・入江あて） 就学相談 TEL 639-4381（窓口：國分・上床あて）

・状況の聴き取りと行動観察による限られた情報から短時間のうちに指導の方向性や方策等をお伝えするため、コメントは対応面を中心にポイントを絞ったものになります。学校としての対応を検討・判断する参考情報としてください。必要に応じて複数回訪問します。

・行動観察後の話合いの参加者は、今後の校内での協議や対応が円滑に進むことを見据え、また、補教体制の可否等の状況を踏まえて選定してください。実際の例は次のとおりです。

校長／校長と副校長／校長、副校長、教務主任／左記の3パターンに加えて学級担任

／上記に加えて学年主任、同学年教員、特別支援教育コーディネーター、かがやきルーム指導員等

なお、担任のみが話合いに参加の学校もありましたが、学校としての対応の判断にもかかわりますので、**管理職1名以上の参加**をお願いします。



（2）相談員による「出前かすた」の実施とその活用

「出前かすた」では、学期単位で週1回、基本的に2校時か5校時に対象の子が抱える課題に即した個別指導を行います。劇的な改善とはいきませんが、表情が穏やかになったり、指示に沿って落ち着いて活動できるようになったりして情緒や行動が安定化していくことを目指します。

ただ、「出前かすた」のみで望ましい変容は難しく、**担任をはじめとする先生方の理解と応援**、そして、**教室やかがやきルーム等での日常の指導との連続性を図ることが不可欠**です。

・先生方の理解と応援に関しては、「出前かすた」の直前・直後の担任のポジティブなかかわりが重要です。これについては第12号「別室対応の送り迎えは笑顔で」で取り上げています。

・指導の連続性を図るために、実施校には関係の先生方に指導場面を一度は参観することをお願いしています。その際は補教体制が必要となるため、**管理職の後押しがあるとスムーズ**です。実際、校長先生の働きかけにより、担任をはじめ複数の先生方が出前かすたの指導を参観し、普段の指導で意識したり取り入れたりして十分に生かした学校もありました。

・参観に来られた先生には、指導の終盤の「お楽しみタイム」（第27号参照）に**ゲストとして加わっていただく**ことがあります（相談員が子どもに働きかけ、子どもが先生を誘います）。子どもは喜び、先生にいいところを見せようと、そして褒めてもらいたくて頑張るものです。その際は御協力をお願いします。

担当 学校生活適応支援アドバイザー（飯山・大瀧）
TEL 639-4392